年間授業計画　新様式例

高等学校 令和7年度（３学年用） 教科　家庭　　科目 ファッション造形基礎

教　科：　家庭　　科　目：　ファッション造形基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 組～　6 組　　選択者

教科担当者：坂内

使用教科書：（ 実教出版株式会社「ファッション造形基礎」　　）

教科　家庭　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】被服構成，被服材料の種類や特徴，被服製作について理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】被服製作に関する課題を発見し，ファッションの造形を学ぶ者として創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】衣生活の充実を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的に取り組む態度を養う

科目　ファッション造形基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成，被服材料の種類や特徴，被服製作について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作に関する課題を発見し，ファッションの造形を学ぶ者として創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１章 衣服の構成 1節　人体と衣服	・衣服に求められる着心地のよさを理解する。 ・衣服の２つの形状（平面構成衣服・立体構成衣服）や，既製衣料サイズ表示を学ぶ。 ・体形の特徴や動作によって適した衣服があることを学ぶ。 ・年齢や着脱によって生じる様々な変化や影響を理解し，適応する衣服をつくることができるようにする。	【知識・技能】衣服には平面構成衣服と立体構成衣服があることを理解し，既製衣料のサイズ表示も理解できている。体形の特徴や動作によって適切な衣服を考えることができる。 【思考・判断・表現】主体的に自分や家族などを例として，年齢や体型，様々なケースに適合する衣服に対して関心を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の身のまわりの服の特徴をみて，立体構成衣服か平面構成衣服かを分けることができる。	○	○	○	4
	第１章 衣服の構成 2節　立体構成衣服と 平面構成衣服	・保温性，通気性，吸湿性・吸水性，透湿性・防水性など，さまざまな衣服材料の性能を理解する。 ・デザインや着用目的など，用途に合わせた衣服材料を適切に選択し，取り扱いできる力をつける。	【知識・技能】立体構成衣服の製作過程で必要なパターンや，ダーツのデザイン展開，平面構成衣服の特徴を理解する。 【思考・判断・表現】自分の身のまわりの服の特徴をみて，立体構成衣服か平面構成衣服かを分けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】人体に合わせて立体的に作られた立体構成衣服と，人が着用することではじめて立体的になる平面構成衣服の特徴の対比に関心を持ち，衣服の構成に関心をよせている。	○	○	○	4
	第2章 衣服の素材 1節 衣服素材の種類	・繊維や繊維から成る糸や布の種類と特徴について理解する。 ・環境に配慮した新しい衣服素材や取り組みに関心をもつ。	【知識・技能】繊維・糸・布と，素材の違いによるそれぞれの特徴，それらの加工を理解している。 【思考・判断・表現】素材の中にも，さらに様々な種類があることを学んだ上で，それらを用いた日常に使用されている衣類を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】これまでに用いられてきた衣服素材を理解するとともに，新しい衣服素材についても，環境や安全性に関連させ，リサイクルなどに意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第2章 衣服の素材 2節 衣服素材の性能と選択	・保温性，通気性，吸湿性・吸水性，透湿性・防水性など，さまざまな衣服材料の性能を理解する。 ・デザインや着用目的など，用途に合わせた衣服材料を適切に選択し，取り扱いできる力をつける。	【知識・技能】それぞれの衣服材料の性能はどのようなものであるか理解し，衣服と関連づけてまとめることができる。 【思考・判断・表現】作成したい衣服に合わせた素材選びを行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】衣服材料の特性をしっかりと理解し，薄地のものがよいか，厚地のものがよいかなど，用途や好みを確認しながら，より具体的な計画表をつくろうとしている。	○	○	○	4
	第３章 洋服の制作	・採寸の手順に加え，パターンを理解する。 ・布地の種類や性質を理解し，それぞれの特徴に合わせた地直しや断ち方，縫い方を習得する。 ・裁断，縫製に関する基礎的な事項を理解し，技法を習得する。	【知識・技能】用具の適切な使用方法，布地の性質や扱い方，縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 【思考・判断・表現】選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方，地直しを考えることができる。課題の完成にむけて，計画的に実習できている。 【主体的に学習に取り組む態度】制作の準備として，基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。技法の学びや実践をとおして，作品制作に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8

3学期	第4章 和服の製作	・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し，じんべいなどの製作をする。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め，基本的な知識・技術を習得する。 ・現代生活の中で慣習にとらわれず和装に親しみを持てるようにする	【知識・技能】特徴や用語を学びながら縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 【思考・判断・表現】布調べ・地直し，しるしつけ，基礎縫いなど，学んだ基礎的な技法を表現して製作に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】和服の伝統について関心をよせている。また制作の準備として，基礎的技法を意欲的に学ぼうとしている。	○	○	○	8
	着装	・礼装と略礼装について理解する。 ・現代生活の中で和装に親しみを持てるようにする。	【知識・技能】着装のマナーや正装の種類と用途を理解している。 【思考・判断・表現】TPOに合わせた美しい着装ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】身近な和服の着つけに意欲的に取り込み，和服の着装機会に生かそうとしている。	○	○	○	2
	1年の振り返り			○	○		2 合計 36

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用）　教科　　家庭

教　科：　家庭　　科　目：　ファッション造形基礎　　単位数：　2

対象学年組：第　１組～　６組　　選択者

教科担当者：坂内

使用教科書：（ 実教出版株式会社「ファッション造形基礎」

教科　家庭　　の目標：

【知識及び技能】被服構成，被服材料の種類や特徴，被服製作について理解すると

【思考力、判断力、表現力等】被服製作に関する課題を発見し，ファッションの造形を学ぶ者として創造

【学びに向かう力、人間性等】衣生活の充実を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的に取り組

科目　ファッション造形基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
被服の構成，被服材料の種類や特徴，被服製作について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作に関する課題を発見し，ファッションの造形を学ぶ者として創造的に解決する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評
1学期	第１章 衣服の構成 1節　人体と衣服 2節　立体構成衣服と 平面構成衣服	・衣服に求められる着心地のよさを理解する。 ・衣服の２つの形状（平面構成衣服・立体構成衣服）や，既製衣料サイズ表示を学ぶ。 ・体形の特徴や動作によって適した衣服があることを学ぶ。 ・立体構成衣服と平面構成衣服，それぞれの形状の違いを学び，衣服を構成する要素の理解を深める。	衣服には平面構成衣服 ことを理解し，既製衣 できている。体形の特 な衣服を考えることが 主体的に自分や家族な 体型，様々なケースに 関心を持っている。立 で必要なパターンや， 開，平面構成衣服の特 身のまわりの服の特徴 か平面構成衣服かを分
	第2章 衣服の素材 1節　衣服素材の種類 2節　衣服素材の性能と選択	・保温性，通気性，吸湿性・吸水性，透湿性・防水性など，さまざまな衣服材料の性能を理解する。 ・デザインや着用目的など，用途に合わせた衣服材料を適切に選択し，取り扱いできる力をつける。	繊維・糸・布と，素材 の特徴，それらの加工 素材の中にも，さらに を学んだ上で，それら れている衣類を挙げる 衣服素材についても， せ，リサイクルなどに している。
	第３章 洋服の制作		【知識・技能】衣生活 身につけている 【思考・判断・表現】 ことができるように自 とができる 【主体的に学習に取り いて、課題の解決に主 改善したりしようとし
	1学期の振り返り		

	第３章 洋服の制作		【知識・技能】・栄養 特質について理解して ・食品の調理上の性質 している。 【思考・判断・表現】 を見いだして，解決策 価・改善し，考察した に付けている。 【主体的に学習に取り を継承し，生活の充実 しようとしている。
	・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方，保存や加工の方法，食中毒や食物アレルギー，安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 ・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために，調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。	食品の選択 食品の衛生と安全 調理の基礎 食生活の文化 ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集 調理実習教材	【知識・技能】・食品 理解している。 ・目的に応じた調理に ている。 ・日本と世界の食文化 りについて理解してい 【思考・判断・表現】 を見いだして，解決策 価・改善し，考察した に付けている。 【主体的に学習に取り を継承し，生活の充実 しようとしている。
	第7章　衣生活をつくる 被服製作の基本の確認	基礎縫い練習 ＜教材＞教科書・資料集・練習布・裁縫道具など	【知識・技能】衣生活 身につけている 【思考・判断・表現】 ことができるように自 とができる 【主体的に学習に取り いて、課題の解決に主 改善したりしようとし
	定期考査 ２学期の振り返り		
３学期	第３章　子どもと共に育つ ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために，子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために，子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・社会全体で子育てを支援していくために，現代の子育て環境の変化や課題について理解する。	身体の発達 心の発達 子どもと遊び 子どもの生活と保育 これからの保育環境 ＜教材＞教科書・学習ノート・資料集 保育人形・疑似体験教具	【知識・技能】・乳幼 活について理解を深め ・子供の遊びと文化、 解を深めている。 【思考・判断・表現】 を支えるために，子供 ついて問題を見いだし 現するなどして課題を ている。 【主体的に学習に取り 関わりと保育・福祉に 善したりして，生活文 実向上を図るために実
	定期考査 1年の振り返り		

科目　ファッション造形基礎

2　単位

）

ともに，関連する技術を身に付けるようにする

造的に解決する力を養う

組む態度を養う

	【学びに向かう力、人間性等】
造	衣生活の充実を目指して自ら学び，ファッションの造形に主体的に取り組む態度を養う。

価規準	知	思	態	配当時数
と立体構成衣服がある 料のサイズ表示も理解 徴や動作によって適切 ができる。 どを例として，年齢や 適合する衣服に対して 体構成衣服の製作過程 ダーツのデザイン展 徴を理解する。自分の をみて，立体構成衣服 けることができる。	○	○	○	4
の違いによるそれぞれ を理解している。 様々な種類があること を用いた日常に使用さ ことができる。新しい 環境や安全性に関連さ 意欲的に取り組もうと	○	○	○	4
の自立に必要な技能を 主体的に衣生活を営む らの課題を表現するこ 組む態度】衣生活につ 体的に取り組んだり、 ている。	○	○	○	2
	○	○		2

	○	○		2
の特徴、食品の栄養的 ている。 について科学的に理解 ・食事について問題 を構想し，実践を評 ことを表現する力を身 組む態度】・生活文化 向上を図るために実践	○	○	○	4
衛生について科学的に 必要な技能を身に付け など，食と人との関わ る。 ・食事について問題 を構想し，実践を評 ことを表現する力を身 組む態度】・生活文化 向上を図るために実践	○	○	○	4
の自立に必要な技能を 主体的に衣生活を営む らの課題を表現するこ 組む態度】衣生活につ 体的に取り組んだり、 ている。	○	○	○	2
	○	○		2
児期の心身の発達と生 ている。 子育て支援について理 ・子供の健やかな発達 との適切な関わり方に て，考察したことを表 解決する力を身に付け 組む態度】・子供との について，振り返って改 化を継承し，生活の充 践しようとしている。	○	○	○	6
	○	○		2 合計 32